

中央区文化・国際交流振興協会だより



「日本橋川上空の高架橋撤去後のイメージ図」（首都高速道路株式会社 提供）
再開発の計画は現時点の情報を基に作成したイメージです。

● 特集 ●

香りと江戸文化

香老舗 松栄堂 畑 正高

- 第 28 回中央区国際交流のつどい
- 令和 3 年度の事業報告と決算
- 第 15 回中央区まるごとミュージアム 2022



Since 1991

香りと江戸文化

香老舗 松栄堂
畑 正高



令和4年10月に3回にわたり開催した文化講座「プロに聞く 今に伝わり 未来に伝える『香りの世界』」では、3回目に香老舗 松栄堂主人である畑正高氏をお招きし、「香りと日本人のものがたり」と題して講演していただきました。大変好評でしたので、このたび講演に関連した内容について寄稿していただきました。

畑 正高（はた まさたか）



昭和29年 京都生まれ。大学卒業後、香老舗 松栄堂に入社。平成10年、同社代表取締役社長に就任。香文化普及発展のため国内外での講演・文化活動にも意欲的に取り組む。著書に『香清話』（淡交社）、「香三才」（東京書籍）などがある。



助六の舞台（東京都江戸東京博物館 提供）

江戸東京博物館を訪問した折、「芝居と遊里」と題して、歌舞伎十八番「助六」の舞台が再現展示されていた。花道には、大きく番傘を広げて見得を切る粋な助六、対する舞台上では、床机に腰をかけた髭の意休が苦虫を潰したように睨みをきかす。二人の間には、両者に気を配る美しい花魁・揚巻の立姿。

京都で薫香を商い香の文化史を学ぶ私にとって、この展示は最高のご褒美だった。ここで交わされる台詞の中に「伽羅」という憧れの香木の名が飛び交う。お大尽の意休は「ままよ、蚊やりに伽羅でも焚こうか」と平静を装うが、それに対して啖呵を切る助六は「こいつが髭に虱がたかる。伽羅は虱の大禁物……伽羅クセ奴だ」と喧嘩を売る。この時、意休の膝前には、三つ足の高卓に載せられた香炉が置いてある。後半で意休は思わず刀を抜いてこの高卓の足を切り落としてしまうのだが、助六は瞬時にこの刀が探し求める友切丸であることを見抜いてしまう。庶民にとっては夢のような「香を焚く」という意休の暮らしぶりが、話の展開に大きく寄与しているのだ。

十八世紀後半にもなると、鎖国の影響も大きく影を落とし、舶載品である香木が、江戸の庶民の手に届くことなど期待もできなかった。しかしながら、さまざまな文化的な生活が話題として知られるようになり、本来は上質な香りを届けてくれるはずの「伽羅」という言葉は、「最高の……」というような意味を持つ形容詞ともなっていた。そういえば、同じ博物館の壁面に「伽羅の油」と書いた軒吊看板が展示してあった。高級な髪付け油を売る店先にあったものだろう。「伽羅の下駄」や「伽羅の方」など、最高のとか、これこそが、というような意味に用いられた。落語や歌舞伎あるいは三味線の爪弾きなどによって多くの文化的な情報が拡散したと思うが、時を同じくして発達した木版印刷も、多様な読み物を流布する上に、浮世絵・錦絵などとして広く庶民に情報を提供した。多くの作品が、十八世紀から十九世紀にかけての江戸文化の活力を今に伝えてくれている。

香が登場する歌舞伎の演目は、今日もしばしば上演されている。例えば「伽羅先代萩」は「伽羅」を「メイボク」と読ませ滑稽化し、仙台藩



の伊達家に伝わる有名な伽羅の香木「柴舟」を暗示している。
ほんちょうにじゅうしこう
 「本朝廿四孝・十種香の場」では、幕開けに、八重垣姫が許嫁の武田勝頼の絵像に向かって香を焚く。
すがわらでんじゅうてならいかのみ
 「菅原伝授手習鑑・寺子屋の場」の「いろは送り」という名場面でも香が焚かれる。観客席に静かに広がる香の香りは、それぞれの場面で臨場感を高め演出効果を発揮する。

正倉院の宝物として知られる名香「蘭奢待」は、信長が切り取ったことで世に知られることとなったが、歌舞伎の舞台で話題にされたことでよりその神秘性に拍車がかかったようだ。「仮名手本忠臣蔵」では、義貞の兜改めの場面で、兜に焚き込められた蘭奢待の芳香が話題になる。
かがみやまごきょうのにしきえ
 「加賀見山田錦絵」では、秘蔵の蘭奢待が草履にすり替えられていて、御殿女中たちは大騒ぎ。誠実な中老の尾上が嫌疑をかけられ、草履打ちの騒動に発展してしまう。
もどりかごいろにあいかた
 「戻駕色相肩」では、場所は京都の紫野、上方と江戸の比べ合いを展開するうちに、懐から落ちた千鳥の香炉から石川五右衛門かと身元が判明してしまう。このように歴史的に話題となってきた香木や香炉などが、憧れの名品として江戸の町の庶民の文化に溶け込んできた。

浮世絵に描かれた香のある生活の様子も興味深い。十七世紀頃の肉筆浮世絵にも、もんこう 聞香の寄合に興じる人々や焚香の様子が描かれている。蚊帳美人と呼ばれるモチーフには香の香りに包まれて想いに耽る美人の姿が描かれ、十八世紀頃の浮世絵によく見ることができる。東京国立



美人蚊帳裡焚香図

みやがわちやうしゆん
 博物館に所蔵される宮川長春の美人聞香図は、緩めた懐から香の香りが立ち上る美人の姿が妖艶で、後世の絵師たちの見本ともなってきた。胸元に立ち昇るのは香りで、煙ではない。

十九世紀になると木版の技術もより精緻になり、錦絵と呼ばれる多色刷りが登場する。聞香の世界では、数種の香木を用いてその香りの異同に着目し、くみこう 組香という寄り合いが発展していた。数百種も創作された組香の一つとして源氏香が知られていた。五本の縦線で香りの異同が表現されるその図柄は五十二通りになることから、源氏五十四帖の帖名を得て、物語を象徴することとなった。
りゅうていたねびこ
 柳亭種彦が執筆し大ヒットとなった『にせむらさきいなかげんじ 修紫田舎源氏』には歌川国貞が挿絵を担当した。源氏香図は、香の世界にとどまらず、源氏物語を示唆するアイコンとして大いに好まれることとなった。天保十三年（1842年）に発禁処分となった「修紫」の後も源氏の人気は衰えず、多くの源氏ものが登場する。『源氏後集余情』『江戸むらさき名所源氏』『今様源氏』『紫式部源氏かるた』など源氏香図をあしらった作品は枚挙にいとまがない。



紫式部源氏かるた

じうたまい 地歌舞の名曲として「そでこうろ 袖香炉」がある。「春の夜の闇はあやなしそれかとよ香やは隠るる梅の花散れど香りはなほ残る……」三味線の音色にのってしつとりと歌われるこの曲も、古今和歌集に収録されているおおしこうちのみつね 凡河内躬恒の「春の夜の闇はあやなし梅の花色こそ見えね香やは隠るる」の一首があればこそ。江戸文化が大きく花開いた化政文化。王朝以来の上質な上方文化を広く江戸の町にも裾野を広げ、今日の Cool Japan の礎となっている。落語「はんこんこう 反魂香」など、まさに江戸庶民の粋とおおらかさがもたらす活力が楽しい。



「折り紙が楽しかったです。
ウサギを作りました」
ルーゴさん(右)「ドイツ出身」
レオナルドさん(左)「ブラジル出身」

Love
peace
hope



●着付け
Kimono Etiquette



●呈茶・茶道体験
Tea Ceremony Experience



●抹茶の点て方体験
Matcha Making Experience

第28回中央区



28th Chuoh International Exch

11月19日(土)、築地社会教育
第28回「中央区国際交流のつどい」
3年ぶりの開催に、外国人128人
日本をはじめ世界各地の伝統文化や



●生け花体験
Flower Arrangement Experience



●水引細工
Mizubiki Workshop

たのしみだわ
ありやうござい
ました



●凧づくりと凧の展示
Kite Making and Displays

凧
の
こ
ろ
に
は
い
ろ
は
な
い
ス
キ



●和太鼓ワークショップ
Taiko (Japanese Drum) Workshop



●防災コーナー
Disaster Preparedness

お返
し
に
あ
が
い
ま
す

お
い
ろ
い
ろ
の
お
も
い
し
な
お
も
い
し
な
お
も
い
し
な

「中央区国際交流のつどい」は、中央区文化・国際交流振興協会が主催する年に一度のイベントです。コロナ禍を経て今年は3年ぶりの開催。築地社会教育会館を会場に16もの無料イベントが企画され、当日会場を訪れた外国人の出身地は27カ国にも及びました。国際色豊かな素晴らしい文化交流の1日をご報告します。

開始時間の12時。すでに入口には30人以上の行列ができていました。受付で参加手続きをすれば、館内を自由に回れます。お昼時とあって、はじめに「日本の料理(けんちん汁)」と「スリランカミルクティー」を振る舞う4階の調理教室を目指す人も多く見られました。テーブルにはみかんやスリランカのクッキーなども置かれ、のんびりカ

フェタイムも楽しめました。お腹が満たされたところで、4階から順にイベントを巡ってみましょう。

三味線体験ができる「長唄三味線」コーナーでは、初めての楽器を手に全員で『さくらさくら』の演奏にチャレンジ。「凧作り」コーナーでは和紙や竹ひごを使って、世界でひとつだけの自作の凧を作成。「防災」コーナーでは、災害時の避難生活のノウハウを英語で紹介するVTR放映や、非常食の無料配布が行われました。

3階は日本の伝統文化体験が集まったフロア。今年初めて登場した「水引細工」では、きらびやかな水引を曲げたり結ったり、繊細な日本の手仕事を体験できました。「折り紙」では老若男女が来年の



●日本の料理
Japanese Foods



●スリランカパネル展
Panel Exhibition of Sri Lanka

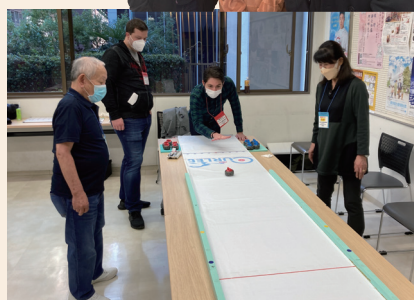


国際交流のつどい



11/19(SAT)
12:00~
16:00

●折り紙
Origami



●日本の遊び・海外の遊び
Japanese Games・Foreign Games



●サリー着付け
How to put on a Sari

●長唄三味線を弾いてみよう！
Let's try Shamisen!

●City
Change Party
会館で
「」が開催されました。
を含む計410人が集まり
や遊びを楽しみました。



●盆踊り
Japanese Bon Dance



「来日して約4ヶ月です。
初めての三味線が
おもしろかったです」
レゴックさん(右) [ベトナム出身]
ナンダウィツリさん(左) [ミャンマー出身]

干支のウサギや箸袋などを折り上げていきます。外国人の姿が絶えなかったのは、茶道や生け花、着付けの体験。「呈茶・茶道体験」「抹茶の点て方体験」では和菓子も振舞われ、「生け花」では石化柳・桔梗蘭・スプレーカーネーションを手に、畳に座り心穏やかに花に向き合いました。「着付け」のコーナーは、振袖や袴をまとうと喜ぶ外国人の姿にあふれ、終始和やかなムードでした。

2階に降りると、世界各国のすごろくや盤ゲームがずらりと並んだ「日本の遊び・海外の遊び」コーナーに人だかりが。毎年人気の「サリー着付け」では、今回もたくさんの日本人参加者がスリランカの美しい民族衣装に身を包みました。「スリランカパネル展」では、長年

にわたる日本とスリランカとの交流の様子を紹介。広い講習室を使った「けん玉実演」では、3万種類もあるけん玉技の中から空中ブランコなどが披露され歓声が。恒例の「盆踊り」では、大勢の参加者が輪になって見よう見真似で楽しく盆ダンスを満喫しました。

1階の音楽室では迫力満点の「和太鼓ワークショップ」が開催され、バチを手に参加者がリレー形式で太鼓に挑戦。獅子舞の演舞もあり、ひと足早いお正月気分も味わえました。

多くのボランティアスタッフによって支えられている本イベント。今年も124人の方々にお力添えいただきました。ありがとうございました。皆さん、また来年も元気な笑顔で集いましょう。

令和3年度の事業報告と決算

令和3年度事業報告

令和4年7月13日（水）開催の令和4年度第1回理事会において、令和3年度の事業報告及び収支決算報告が承認されました。その概要を報告します。

I 文化振興事業

(1) 機関誌の発行

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を発行しました。

発行部数等 5,500部 A4判 8ページ

発行回数 年2回（令和3年7月—第75号、同年12月—第76号）

(2) 協会創立30周年記念行事

協会創立30周年（平成3（1991）年5月27日設立）記念式典を開催するとともに、協会の歴史等をまとめた記念誌を発行しました。

① 記念式典の開催

日時 令和3年12月4日（土）
午前10時開会
会場 銀座プロッサム（中央会館）
内容
＜第一部＞記念式典
理事長挨拶 理事長 三田 芳裕
永年活動ボランティアへの感謝状
及び記念品贈呈
受賞者 84名（出席者51名）
来賓挨拶 中央区長 山本 泰人



＜第二部＞記念講演

歌舞伎に親しむ
「役者と付け打ちによる江戸荒事の実演」
講師 付け打ち専門職
T²Generation
代表 山崎 徹
歌舞伎大向う 弥生会 堀越 一寿
歌舞伎俳優 尾上 緑

② 記念誌「ともに歩む ともに生きる ～これまでも これからも～」の発行

発行部数等 1,000部 A4判 28ページ

発行年月日 令和4年3月31日

内 容

ご挨拶 中央区文化・国際交流振興協会
理事長 三田 芳裕
中央区長 山本 泰人
ご祝辞 一般財団法人東京都つながり創生
財団理事長 マリ クリスティーン
中央区文化振興プロデュースチーム
座長 陣内 秀信
中央区文化推進事業助成審査会
委員長 大西 珠枝
明海大学外国語学部日本語学科
准教授 西川 寛之
設立趣意 設立趣意書、協会の設立目的、協会の事業、協会組織図

協会30周年の歩み、歴代役員名簿、ボランティア活動等

(3) ホームページの運営

スマートフォンにも対応した協会ホームページを適宜更新しながら、協会の概要をはじめ、事業内容やイベント等の最新情報を提供し、協会に対する理解と参加の促進を図りました。

URL: <https://www.chuo-ci.jp/>
また、twitter や facebook による情報発信も行いました。

(4) コンサートの開催

親しみやすい音楽鑑賞の機会を提供しました。

日時 令和3年9月10日（金）
午後6時45分開演
会場 日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
内容 TSUKEMEN コンサート2021
出演者 TSUKEMEN
入場者数 167名（会場定員の50%で実施）
参加費 2,000円



(5) 文化講座の開催

東京国立近代美術館の全面的な協力のもと、中央区で活躍した日本画家、鍋木清方について、近年再発見された幻の「築地明石町」等、中央区にゆかりがある作品群を読み解き、その生涯や画業について理解を深める連続講座「鍋木清方がみた築地・京橋・日本橋・没後50年 鍋木清方展を楽しむ」を開催しました。

第一回

日時 令和3年10月7日（木）
午後6時30分開演
内容 「鍋木清方 幻の《築地明石町》」
及び講師 三部作
東京国立近代美術館 主任研究員
鶴見 香織

第二回

日時 令和3年10月14日（木）
午後6時30分開演
内容 「中央区と鍋木清方～清方が愛した下町の原風景～」
及び講師 鎌倉市鍋木清方記念美術館 学芸員
今西 彩子

第三回

日時 令和3年10月21日（木）
午後6時30分開演
内容 「来春の『没後50年 鍋木清方展』ではここをみてほしい」
及び講師 東京国立近代美術館 主任研究員
鶴見 香織

会場 日本橋公会堂 第3・4洋室

参加者数 延 139名

参加費 無料

(6) 特別文化講演会の開催

NHKとの共催により、絵画・彫刻等の展覧会に関連した講演会（入場無料）を開催し、区民等の文化意識の向上を図ります。
※新型コロナウイルスのため中止としました。

(7) 古典芸能鑑賞会の開催

中央区に深い関わりを持つ古典芸能を鑑賞する機会を提供することで、由緒ある伝統文化に対する愛着心を育み、その継承・普及を図りました。企画・制作は、「中央区古典芸能の会」に委託しました。

日時 令和3年6月5日（土）
午後5時開演
会場 日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
内容 講話「中央区郷土もよもや話 弥次喜多と十返舎一九から東京五輪まで」
舞踊 清元「三社祭」
琉球舞踊 古典女踊り
「本嘉手久節」
落語 「ちりとてちん」



新作邦楽「弥次喜多・東海道中膝栗毛 in 中央区」

入場者数 169名（会場定員の50%で実施）

参加費 2,000円（中学生以下1,000円）

(8) 文化推進事業助成

区内文化活動をさらに促進していくために、区民等による文化活動等に対し、その経費の一部を助成するとともに、後援を行いました。

(助成)

①文化創造・発信事業助成

助成金額：当該事業の対象経費の9/10の範囲内（上限200万円）

助成件数：ア 令和3年度助成件数（令和2年度決定）：3件

イ 令和4年度助成予定件数（令和3年度決定）：4件

②文化団体活動助成

助成金額：当該団体活動の対象経費の1/2の範囲内（上限40万円）

助成件数：ア 令和3年度助成件数（令和2年度決定）：2件

イ 令和4年度助成予定件数（令和3年度決定）：3件

③文化推進事業助成

助成金額：当該事業の対象経費の1/2の範囲内（上限10万円）

助成件数：1件

(後援)

後援件数：8件

(9) 中央区まるごとミュージアムの開催

文化・芸術の秋の一日、本区のさまざまな文化的魅力を体験できる第14回「中央区まるごとミュージアム2021」を中央区と共催で実施しました。

日時 令和3年11月14日（日）

午前10時～午後4時

場所 中央区全域

実施結果

・乗船人数（日本橋周遊、明石町水辺ライン周遊及び晴海周遊ルートの3コース）
合計 1,937名

・イベント事業数 36事業及び3協賛事業

・イベント参加人数 延 29,000名

(10) 文化振興プロデュースチーム

「中央区文化振興プラン」の提言（平成20年3月中央区文化振興懇談会提言）に基づき、中央区と協会が協力して区民（企業、NPO等を含む。）の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、平成20年度に専門家等からなるプロデュースチーム（構成員6名）を設置しました。令和3年度は、中央区まるごとミュージアム2021の事業者連絡会において意見をいただくとともに、まちかど展示館の運営状況をはじめ、区内全体の文化事業の推進について協議していただきました。

II 国際交流振興事業

(1) 国際交流のつどいの開催

外国人と日本人との交流を推進するため、協会登録ボランティアが主体となり、日本の伝統文化等を紹介するとともに、外国文化にも触れられる交流イベントを年1回開催しています。

※新型コロナウイルスのため中止としました。

開催予定

日時 令和3年11月20日（土）
正午～午後4時

会場 築地社会教育会館

内容
○伝統文化体験コーナー
○懇談コーナー
○国際交流サロンコーナー
○防災コーナー等

参加費 無料

(2) 国際交流サロンの開催

区内在住・在勤・在学の外国人と日本人が、日本の文化等を体験できるイベントを通じて交流を楽しめる場を提供するため、ボランティアの協力を得て、8月、11月を除く毎月1回、土

曜日に開催しました。

※上記のほか、新型コロナウイルスのため、4月、7月及び3月は中止としました。

会 場 築地社会教育会館他

内 容 茶道ってなあに？、お香についてみんなで学ぼう！、ポッチャを体験してみよう！、漆器のあれこれ、チョコレートの世界へようこそ！、長唄三味線を弾いてみよう！、和菓子に親しもう！

実施回数 7回

参加者数 外国人 延38名、日本人 延65名〈事前申込制〉、ボランティアスタッフ 延55名

参 加 費 無料



(3) 日本語教室

日本語でのコミュニケーションが困難な区内在住・在勤の外国人を対象に、日本語ボランティアによる語学の指導に加え、学習者と指導者の交流の場となる協会主催教室を通年で運営しました。また、教室参加希望者の増加や多様化する要望に対応するため、ボランティアが主催する教室に対し、助成金の交付や後援名義の使用、学習者紹介等の支援を行いました。

※新型コロナウイルスのため、実施回数及び時間を変更して開催しました。



(4) 日本語指導者養成講座

日本語教室受講希望者の増加に対応するとともに、協会及びボランティア主催教室の活動を充実させるため、指導者となる日本語ボランティアを養成する協会独自の講座を開催しています。

期 間 令和3年5月～9月 22回(44時間)

受講者数 18名

講 師 明海大学外国語学部日本語学科
准教授 西川 寛之

会 場 新富区民館

参 加 費 無料

(5) 日本語ステップアップ講座の開催

各教室で活動する日本語ボランティアの学習需要に対応するとともに、指導力・技法のレベルアップを図るため、ステップアップ講座を開催しました。

期 間 令和3年10月～令和4年2月
5回(10時間)

受講者数 延80名

講 師 公益社団法人国際日本語普及協会へ
講師派遣を委託

会 場 協会講習室よりオンライン配信

参 加 費 無料



(6) ボランティア活動支援

日本語教室の日本語指導者をはじめとする各種の協会登録ボランティアの活動を支援するとともに、中央区からの要請を受け、区の事業実施時に協会登録の通訳ボランティアを派遣しました。また、協会登録ボランティアの活動強化、ボランティア間及び協会とのさらなる連携を図るため、ボランティア研修会を開催しました。

① ボランティアの種類及び登録者数 (令和4年3月末日現在)

登録者数：361名(実人員。次の区分では複数登録あり)

・通訳・翻訳ボランティア：103名
・イベントスタッフボランティア：190名

・日本語ボランティア：230名
・国際交流サロンボランティア：13名
・防災語学ボランティア：57名

② ボランティアの派遣・活動 (令和4年3月末日現在)

通訳・翻訳ボランティア及びイベントスタッフボランティア
延13名(保健センターにおける乳幼児健診など)

③ ボランティア研修会

日 時 令和4年3月5日(土)

午前10時～11時30分

会 場 協会講習室よりオンライン配信

演 題 日本語教育を通して見たハノイ
ー JICA ボランティアのベトナム体験談ー

講 師 公益社団法人国際日本語普及協会

内藤 真知子

参 加 者 23名

参 加 費 無料

(7) 姉妹都市親善写真展

姉妹都市サザランド市と本区との一層の親善を深めるため、お互いの生活や風景、行事等を紹介する写真を交換し、写真展を中央区役所1階、日本橋区民センター1階及び月島区民センター1階で年1回開催しています。

令和3年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、同市でもイベントや行事の中止が続き、写真の提供が困難との申し出があり、写真展を中止としました。

なお、令和3年度は中央区とサザランド市の姉妹都市提携30周年にも当たることから、これを記念し、姉妹都市紹介パンフレット(A4判、8頁、2,000部)とポスター(B1判、片面)を作成しました。

(8) 国際交流推進事業助成

協会の目的である国際交流を振興するため、区民が主体となって行う国際交流事業に対して、事業の実施に要する経費の一部を助成及び後援を行っています。

助成金額：当該事業の対象経費の1/2の範囲内(上限10万円)

助成及び後援件数：0件

令和3年度決算

<収入>

科目	決算額(円)	説明
事業収入	689,500	古典芸能鑑賞会、コンサート事業収入等
区補助金	113,667,000	中央区からの補助金
寄付金	0	
雑収入	356	預金利子
収入合計	114,356,856	

<支出>

科目	決算額(円)	説明
事業費	60,226,299	
文化振興費	57,379,795	機関誌の発行、コンサート、文化講座、特別文化講演会、古典芸能鑑賞会、文化推進事業助成、中央区まるごとミュージアム、文化振興プロデュースチーム
国際交流振興費	2,846,504	国際交流のつどい、国際交流サロン、日本語教室、日本語指導者養成講座、日本語ステップアップ講座、ボランティア活動支援、姉妹都市親善写真展、国際交流推進事業助成
管理費	40,974,019	
人件費	35,756,651	職員の給与
管理運営費	5,217,368	理事会、周年行事、事務費等
予備費	0	
合計	101,200,318	
区返還金	13,156,538	中央区補助金の精算返納
支出合計	114,356,856	

協会主催の日本語教室

① 水曜日教室

※新型コロナウイルスのため、5月12日は中止

日 時 毎月第1・第2・第3水曜日(8月を除く) 午後6時30分～8時
会 場 女性センター「ブーケ21」
実施回数 30回
参加者数 外国人 延180名、ボランティア 延210名

② 木曜日教室

※新型コロナウイルスのため、5月6日は中止、降雪のため、2月20日は中止

日 時 毎月第1・第2・第3木曜日(8月を除く) 午前10時～11時45分
会 場 新富区民館
実施回数 30回
参加者数 外国人 延303名、ボランティア 延324名

③ 土曜日教室

※新型コロナウイルスのため、5月8日、5月15日は中止

日 時 毎月第2・第3・第4土曜日(8月は第2・第3土曜日を除く) 午前10時～正午
会 場 新富区民館
実施回数 30回
参加者数 外国人 延226名、ボランティア 延238名

協会が支援する日本語教室

① ワールドフレンズ日曜にほんごクラブ

※新型コロナウイルスのため、5月、8月、9月は中止

日 時 毎週日曜日 午前10時～11時30分
会 場 日本橋社会教育会館
実施回数 23回
参加者数 外国人 延153名、ボランティア 延91名

② 日本語おたすけたい

※新型コロナウイルスのため、5月は中止

日 時 月曜日(月3回) 午後7時～8時30分

会 場 日本橋社会教育会館

実施回数 30回

参加者数 外国人 延96名、ボランティア 延175名

③ 月島日本語倶楽部

※新型コロナウイルスのため、5月、9月、2月、3月は中止

日 時 毎週火曜日(8月を除く) 午前10時～11時50分
会 場 月島社会教育会館
実施回数 17回
参加者数 外国人 延47名、ボランティア 延71名

④ 日本語コミュニケーション・パートナー

※新型コロナウイルスのため、5月は中止

日 時 火曜日(月3回) 午後7時～8時30分
会 場 新富区民館
実施回数 32回
参加者数 外国人 延144名、ボランティア 延160名

⑤ 銀座日本語教室

※新型コロナウイルスのため、5月、2月は中止

日 時 毎月第1・第2・第3水曜日(8月を除く) 午前10時～11時30分
会 場 築地社会教育会館
実施回数 24回
参加者数 外国人 延95名、ボランティア 延135名

⑥ にこにこ日本語

日 時 木曜日(月3回)(8月を除く) 午後7時～8時30分
会 場 佃区民館
実施回数 35回
参加者数 外国人 延340名、ボランティア 延272名

⑦ にほんご生活

※新型コロナウイルスのため、オンラインで実施

日 時 毎週土曜日 午後2時～3時45分
会 場 ZOOMによるオンライン開催
実施回数 51回
参加者数 外国人 延634名、ボランティア 延312名

第15回中央区まるごとミュージアム2022

11月13日(日)、秋の恒例イベント「中央区まるごとミュージアム2022」を開催しました。3年ぶりに「無料巡回バス」も運行し、区全域を行き来しながら、多くの皆さまに中央区の歴史と文化を感じていただきました。
主催：中央区、中央区文化・国際交流振興協会

11/13(Sun)
10:00 ~
16:00

中央区全域をひとつの「ミュージアム」に見立て、多彩な切り口で文化や歴史を体感できる「中央区まるごとミュージアム」。日本の文化・商業・情報の中心として発展してきた中央区ならではの、魅力あふれるイベントです。今年は、2020年より新型コロナウイルス感染症対策のため休止していた巡回バスが復活。銀座エリア・日本橋エリア・晴海エリア間を無料で行き来しながら、イベントを楽しむことができました。昨年導入されたオンラインマップやデジタルスタンプラリーなどの便利なツールも、参加者のまち歩きをサポート。6つの新規イベントを含む39ものイベントが開催され、区内外からのべ49,000人の方にご参加いただきました。

今年初開催の「セイコーの時計塔の前で、オリジナル日時計を実験!〈写真①〉」は、銀座の街の象徴とも言える時計塔屋上・セイコースカイガーデンへの特別案内がセットになった小学生向けプログラム。計20組の親子が参加し、時計の歴史を学んだり自分で日時計を作ったりしながら、「時間とは何か?」という問いに向き合いました。同じく今年初開催の「手びねり陶芸体験〈写真②〉」では、信楽の土を使って手回しろくろに挑戦。お茶碗や小鉢など好きな器を作ることができました。完成品が届くのは約1ヶ月半後のお楽しみです。このほか、自分で書いた江戸文字がシールになって後日送られてくる「江戸文字を書いてみよう!手描きで伝える江戸文字の美」や、たくさんの花々やパーツを自由に選べる「オリジナルリース作り体験」などもあり、楽しい体験が暮らしの彩りにもつながるプログラムは大人気でした。

ちなみに、今年は23の「事前募集イベント」が開催され、どれも大盛況。毎年9月下旬頃から「事前募集イベント」のご案内が始まりますので、来年はぜひ皆さまもチェックしてみてください。

予約不要で気軽に楽しめるプログラムも盛りだくさんの

「まるごとミュージアム」。香老舗 松栄堂では「灰と炭を使ったお香のたき方 実演コーナー〈写真③〉」が設けられ、昔ながらのお香のたき方「空薫(そらだき)」が披露されました。お香に直接火をつけず、間接的に熱を伝えることで強く香るのだそうです。ハンカチーフ専門店による「ハンカチのはぎれを使ったくるみボタンワークショップ〈写真④〉」では、製造工程で発生するはぎれを利用して可愛いくるみボタンを制作。はぎれを無駄にせず楽しくアップサイクルすることができました。

展示系のプログラムは、中央区が誇る老舗の伝統を感じられる「江戸開府以来400年の歴史と伝統 中央区まちかど展示館〈写真⑤〉」をはじめ、全国の珍しい凧150点以上が並ぶ「凧の博物館無料開放」、「警察車両(白バイ)展示」など、バラエティ豊かなラインナップが老若男女を楽しませてくれました。異国の踊りと音楽を堪能できる「情熱のフラメンコ!〈写真⑥〉」や「愛と人生の詩シャンソンを貴方に」などステージイベントも素晴らしく、多くの人が非日常の感動を味わいました。

毎年大人気の「まち歩きツアー」は、今年もボランティアガイドの皆さんがオリジナルの歴史案内をする「金融街を歩く」「中央区近代建築物めぐり」など4つのコースを実施。「江戸湊散策と講談体験〈写真⑦⑧〉」コースでは、貸切バスと徒歩を織り混ぜ、鉄砲洲稲荷神社や霊岸島検潮所・量水標跡などを巡り、最後は江戸の辻講釈発祥の地といわれる薬研堀不動院へ。笑いと拍手に包まれた一龍齋貞友先生による講談で締めくくる贅沢なツアーとなりました。

今年も、ご参加いただきました皆さま、ご協力を賜りました多くの関係者の皆さま、ご協賛各社さまに対し、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



①セイコーミュージアム銀座にて



②信楽の土で手回しろくろを回す陶芸体験



③灰と炭を使ったお香のたき方の実演



④ハンカチのはぎれを使ったくるみボタン



⑤中央区まちかど展示館ではそれぞれの展示館自慢の逸品を展示



⑥スペインの香りあふれるフラメンコショー



⑦まち歩きツアー江戸湊散策、南高橋



⑧一龍齋貞友先生による講談

表紙 日本橋川上空の高架橋撤去後のイメージ図

国の重要文化財である「日本橋」、現在の石造り2連アーチ橋は1911年に完成しました。橋上に架かる首都高は、1964年の東京オリンピックにむけて建設されてから半世紀を超え、老朽化が進む首都高の大規模更新に合わせてルートが地下化され、日本橋に空を復活させるプロジェクトが始まります。

特集は、香老舗 松栄堂主人である畑正高氏に、10月に開催した文化講座の中で「香りと日本人のものがたり」と題して講演していただきましたところ大変好評でしたので、講演に関連した内容について寄稿していただきました。
3年ぶりの開催、28回を迎えた「国際交流のつどい」では、料理(けんちん汁、スリランカミルクティー)や踊り(盆踊り)、生け花、茶道等日本の伝統文化の体験など様々なコーナーに410人の方が参加され楽しく交流を深めていただきました。
15回目となった「まるごとミュージアム2022」では、区内を巡るバスの周遊ルートも再開し、新規6事業を加えた39の多彩な文化イベントが繰り広げられ、延べ49,000人の方に中央区の文化的な魅力を満喫していただきました。